



2021年3月5日

## 新たなCO2排出量削減目標の設定について ～2025年度50%削減、2040年度100%削減へ目標を引き上げ～

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二)は、今般、CO2排出量削減目標の見直しを行いました。

従来、CO2排出量削減目標は、スコープ1<sup>1</sup>およびスコープ2<sup>2</sup>を対象としてきましたが、今回、その水準を引き上げるとともに、達成年度を前倒しします。加えて、中核子会社である第一生命保険株式会社(以下、「第一生命」)において、全社員一体となった取組みを推進するため、「当社事業や社員の行動変容につながる視点で重視すべき項目」を対象に、スコープ3<sup>3</sup>のCO2排出量削減目標を設定します。

### CO2排出量削減目標(スコープ1+2)

	現行	見直し後
グループ全体	対前年比 1%削減	(2019年度比)
第一生命	(2013年度比) 中期 : 2030年度 40%削減 長期 : 2050年度 70%削減	中期 : <b>2025年度</b> 50%削減 長期 : <b>2040年度</b> 100%削減

### CO2排出量削減目標(スコープ3)(※)

	現行	見直し後
第一生命	目標設定なし	(2019年度比) 中期 : <b>2030年度</b> 30%削減 長期 : <b>2050年度</b> 100%削減

(※)把握可能な項目で、当社事業や社員の行動変容につながる視点で重視すべき項目を対象

- ・ 現時点では、カテゴリ1(購入した製品・サービス)、カテゴリ3(スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動)、カテゴリ4(輸送、配送(上流))、カテゴリ5(事業から出る廃棄物)、カテゴリ6(出張)、カテゴリ7(雇用者の通勤)、カテゴリ12(販売した製品の廃棄)を対象
- ・ 今後、カテゴリ15(投資)について、目標設定予定。また、その他のカテゴリの追加も検討する

スコープ1+2は、第一生命において、「2023年度末までの100%再生可能エネルギー化(RE100<sup>4</sup>)」を図ること等

<sup>1</sup> 当社自らの直接排出

<sup>2</sup> 他社から供給された電気などの使用に伴う間接排出

<sup>3</sup> スコープ1、スコープ2以外の間接排出

<sup>4</sup> 事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアティブ。当社は2019年8月に加盟

により、上記 2025 年度の中期目標達成を目指します。またスコープ3は、第一生命において取組みを推進し、その後順次、グループ各社へ展開します。

第一生命グループは、サステナビリティを巡る課題への対応に関する取組みをこれまでも進めてきましたが、2021 年 4 月からの新たな中期経営計画においても、これを更に強化し、様々な社会課題の解決に向けて取り組んでいきます。

このうち気候変動への対応は、当社グループが位置付ける「重要な社会課題」の一つであり、本件のみならず、本日リリースにて公表している「本邦初となるネットゼロ・アセットオーナー・アライアンスへの加盟について」「2023 年度までの 100%再生可能エネルギー化 (RE100) 達成方針を策定」<sup>5</sup>に係る取組みについても、併せて進めていきます。

当社グループは、これら気候変動への対応について、グループの特色を生かしつつ、スピード感をもって取り組んでまいります。

以上

---

<sup>5</sup> 第一生命保険株式会社 (<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>) ニュースリリース